

集中豪雨や台風による水害は、
早めの避難で被害を最小限に抑えることができる災害です

水害への備えは家庭から

近年、梅雨や台風の時期のまとまった降雨により、河川の氾濫や堤防の決壊による洪水や土砂災害による被害が全国各地で多発しています。いざという時、あなたや周りの人の命を守るための備えはできていますか。

✓ 非常持ち出し袋・備蓄食料を準備する

水や食料は、最低でも3日分、できれば1週間分を備えましょう。(水は3ℓ/1人・1日)

定期的な非常用の食品を食べて、食べた分を買い足す「ローリングストック」が有効



✓ 避難場所を考える

避難場所は小・中学校や公民館だけではありません。安全な地域の親戚・知人宅や、ホテル・旅館なども含めて事前に避難先を探しておきましょう。

✓ 非常時の行動を考える

いざという時、あなたはいつ避難を開始しますか。あらかじめ、行動するきっかけを考えておきましょう。

家族との連絡手段や集合場所を話し合っておくことも大切

✓ ハザードマップを確認する

安全な場所にいる人まで避難場所へ行く必要はありません。ハザードマップを見て、自分の住んでいる場所、よく行く場所の危険性を確認しましょう。



河川ごとにハザードマップを更新し、対象地区に全戸配布しています[鈴鹿川・内部川(令和元年度)、朝明川(令和2年度)、海蔵川・三滝川(令和3年度)]
※天白川・鹿化川、足見川・鎌谷川、内部川(一部)は令和4年度に配布予定です



どの河川が氾濫するとどれくらい浸水するかを確認

※ウェブサイト「四日市市公開型GIS(防災情報)」からも確認することができます

HP <https://www2.wagmap.jp/yokkaichi/Portal>



情報を取得し、早めの避難を!

テレビやラジオのほかにも、さまざまな手段で情報が取得できます。風雨がピークを迎えてからの行動は危険です。早めの避難を心掛けましょう。

パソコン・スマートフォンなどで市からの情報を受け取るには

四日市市Sアラート: アプリをダウンロード。各地区の緊急情報を音声・文字で受け取れます

四日市市安全安心防災メール: t-yokkaichi@sg-p.jpに空メールを送信。気象・災害情報を取得できます

四日市市防災情報ホームページ: 「四日市 防災」で検索。ハザードマップや気象情報が確認できます

避難所に行く場合には、感染症予防のためマスクの着用や、他人との共用を避けるため体温計・消毒液を携帯するなど、人が集まる場所での感染拡大防止にご協力ください。



iPhone・iPad



Android